

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	倉敷市立琴浦南小学校	実践者名	澤井 果歩
教科	総合的な学習の時間	学年	第3学年
活用内容	ロイロ・ノートでスライドを作成し、それを用いて発表する。	実践日	令和4年1～2学期
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
単元・内容等	自分たちの地域について、話を聞いたり調べたりしたことをロイロ・ノートでまとめて、クラスで発表する。		

活用の概要（目的・活用場面・使用アプリ名を含む）

1学期 「潮風によって地域発見 パートⅠ」

社会科学習と関連付けて、自分の校区の町の様子について調べた。

活用方法① 自分の地区の商店や病院等を撮影し、ロイロ・ノートで提出した。

活用方法② 撮影した商店等についてインターネットで詳しく調べた。

活用方法③ 調べたことをグループで持ち寄り、ロイロ・ノートを活用して、発表用のスライドを分担して作成した。



2学期 「潮風によって地域発見 パートⅡ」

ジーンズソムリエの方のお話を聞き、児島で有名なジーンズを紹介した。

活用方法④ ジーンズソムリエの方から聞いた話を、ロイロ・ノートにまとめて発表した。まとめる際は、文字の大きさを変えたり撮影した画像を効果的に使ったりして、1学期よりも工夫してまとめられるようにした。



実践者の手ごたえ	児童生徒・保護者等の主な反応や声
ロイロ・ノートを活用したまとめは、初めてだったが、教師が各種操作方法を伝えた後、実際に操作すると、直感的に操作することができ、各自工夫してまとめることができた。1学期、2学期と続けて使用すると児童の操作や表現の向上が見られた。	(児童の様子から) 文字の大小や写真の入れ方など新しいことを教えると、どんどん取り入れる様子が見られた。2学期には、図や表を取り入れる等、さらに工夫してまとめる力がついてきた。